

オリエント・カフェ

東洋の歴史に触れた後は、シーボルトゆかりの植物が植えられている庭園「シーボルト・ガルテン」の景色を楽しみながら、優雅なひとときを。ランチ、カフェ、ご会食まで、三菱ゆかりの小岩井農場こだわりの食材を使用したメニューをお届けします。



東洋文庫内に併設されている「東洋文庫ミュージアム」は、より多くの方々に東洋学の面白さを知っていただくために開設された、貴重な書物や絵画を約100点展示する国内最大級の本に関するミュージアムです。1年に3回展示替えを行い(株主通信裏面ご参照)、東洋の文化を身近に感じることが出来ます。

東洋文庫ミュージアム



1世紀の時を超え貴重なコレクションが並ぶ「モリソン書庫」はまさに圧巻

三菱ゆかりの地を訪ねて

必見!
至宝の
コレクション



ドチリーナ・キリシタン (国指定重要文化財)

1592年 天草刊

キリスト教の基本的な教え「ドチリーナ(教義)」を説いた本で、ローマ字つづりの日本語で書かれています(世界でただ一つの現存例)。16世紀末、キリスト教の布教活動が盛んだった天草(熊本県)で印刷されました。



解体新書

杉田玄白等訳 小田野直武画 1774年頃

日本で初めて翻訳された西洋解剖学の書物。蘭方医の杉田玄白、前野良沢らによって翻訳され、その後の蘭学と日本医学の発展に大きな影響を与えました。



アヘン戦争図

ダンカン 1843年
アヘン戦争の最中、英国の軍艦ネメシス号と中国の兵船団との海戦を描いた作品。所蔵資料の中で教科書に一番掲載されています。

特別名勝・六義園



三菱初代社長、岩崎彌太郎が購入し、久彌が東京に寄贈した大名庭園「六義園」までは徒歩1分。併せて訪れてみてはいかがでしょうか。

アジア全域の歴史と文化に関する東洋学の日本最古・最大の研究図書館である東洋文庫。三菱第三代社長岩崎久彌が、日本の文化・教育のために、当時中華民国総統府顧問を務めていたG.E.モリソン博士の所蔵するアジア関連欧文書籍2万4千冊、地図版画千枚に上る「モリソン文庫」を購入したことに始まります。愛書家だった久彌が所有する豊富な漢籍・和書にモリソン文庫を加え、1924年に設立。今では蔵書数は国宝5点、重要文化財7点を含む約100万冊となり、世界五大東洋学研究図書館の一つとされています。

世界に誇る東洋学の研究図書館
東洋文庫